

# 事故防ぐ心掛け紹介

川崎医療福祉大・金光名誉教授

## 交通安全教育の本出版

運転中や歩行中の人間心理を研究する金光義弘・川崎医療福祉大名誉教授(交通心理学)が、新著『心のまなび』から考える交通安全教育(シンク出版)を出した。事故を引き起こす心の状態を踏まえ、対策を提言している。

事故を招く心理の一つとして金光氏が指摘するのは、ほかのドライバーや歩行者ら「相手が止まるから大丈夫

だろう」といった自己都合の良い解釈。事故を防ぐためには、「対向車が速度を緩めないかもしれない」など慎重な考え方を心掛けるよう求めた。

悲惨な事例として実際の事故も多く取り上げ、対策を考察。岡山市で2018年、中学生が無免許運転する乗用車が自損事故を起こし、乗っていた中学生5人が死傷した事故に

関しては、学校や家庭で子どもたちに交通安全教育を行う重要性を



「『心のまなび』から考える交通安全教育」を出版した金光名誉教授

も紹介した。A5判、240ページ。県安全運転管理者協議

訴えている。

高齢ドライバーによる事故の要因となっている身体・認知機能の低下を予防する目的で、手軽にできる体操も紹介した。

会連合会など発行の機関誌に連載したコラムに加筆、修正した。2200円。出版社やインターネット書店から購入できる。  
金光氏は「交通事故の多くは心掛けて防げる」とした上で「事故は常に起こり得るものと認識し、安全に細心の注意を払ってほしい」と呼び掛けている。(山本真慈)